夕刊
磐城新聞
十一月四日發行

定價 一ヶ月金五十錢 [illegible] 發行所 磐城新聞社 [illegible]

（日曜祭日翌日休刊）
東京振替一〇八・五五六五番

天氣豫報 小名濱測候所發表
今晩 東の風雨
明日 南東の風西雨 天氣次第によし

義父は長生する
訃報が誤りだつた歡び
赤井獄男

勤め先の義弟から、急き込んだ電話で、新潟へ旅行中の義父が亡くなつた！と知らされた自分は、餘りの突然に、心の平靜を喪ひ當面の打合せも匆々に電話を切つて、暫時は眼前にクローズアップされた義父の幻影を凝視し乍らあたま中を駈け廻る超錯綜の感情を抑へる事が出來なかつた。

いまだ亡きその人と直接血の繋る妻に向つて、一体何と云つたものか、と自分は其の訃を傳へる發表樣式に就て途々心を碎いたのであつたが、上るなり

「大變な事になつちやつたわい」

の一語に先づ不吉の豫感を與へて次に來る必然の愕きを幾分緩和するより外無かつた

〇

散らけた針仕事を取り片づけて、そそくさと着替をすませて、K村の實家へ駈けつける事になつた妻と故人に對する還らぬ想ひ出を語り乍ら途中で別れて社へ歸つた自分は一としきりの放心から平靜を取り戻して曾ては縣會に出た事もある義父の死をその日の紙上に報道しやうと、旅行中の急死を書いた次へ

翁は笠間藩落谷總督〇家の嫡男として生れ少壯二十七歳田村郡の戸長を振り出しに……と云つた樣な略歷迄附け加へた原稿を廻したのであつたが、そのうち再び義弟から

「どうも變挺な節がある、未だ死んでは居ないかもしれない……」

との電話に、仰が何やら判らない乍らも、なるべくな

是非さうあつて欲しい願納なので新聞へ載せることを撤回したのだつた。

〇

葬ひの日取りをきめるのに暦を調べるやら漬物の支度をするやら、野良着の儘駈けつけた多くの悔み客などでK村の留守宅がごつた返して居る頃、思ひ設けぬ悲報に一時は失神せんばかりに驚き悲しんだ裡にも些か腑に落ちないと感ついた卑屬の一人が、新潟の關係筋へ電話で問合せた結果、今朝而も元氣で發つたのだからそんな筈はないと、陽氣な笑ひ聲を含んでの返事に接したとの事に、其れ迄は斷じて間違ひないと云ひ張り通して居た局に料金を出して照會を求めた處、一族郎黨をして人生の無常迅速を歎き悲しませたこの

チチ六ジハンシス

の電報は、何と

チチ六シハンツク

の誤りと判り餘りの莫迦〱しさに一同噴つたり笑つたりするより外なかつた

〇

八十を越し乍ら耳が全きり駄目な丈けで尚ほ矍鑠たる義父はこの騒ぎに駈けつけた多くの子達の仰山な出迎を受けてそのわけを怪しみ乍ら十萬億土ならぬ平驛頭に

チチ六シハンツク

の電報通り莞爾として降り立つた。

「んだから今度の旅行は最初から心配したんだ」「立錐の鳥がハカバと啼いた時吃度人が死ぬ」「一番可愛い娘の處で亡くなつたんだから良いわい」

斯うした色々な話に、その死を決定づけられた義父八十一歳のこの秋をまゝ去年と同じに明治節の菊の香に歌想を練つたのであつた

秋淺き山
仁科繁男

○雨いよよ降りつのりくる谷間に師を呼ぶ聲の山に谿す

○炭積みて町に出て行く馬方に手紙たのめる村人あはれ

○乾徳の頂近き高原ゆ落葉松まきて霧流れ行く

○訪ふ人の與ふるに狎れし山深き村の子等はキャラメルを乞ふ

消息

島田忠夫氏より　御無沙汰致して居ます。鳥取、岡山、四國、大阪、奈良と二十日餘り一巡して來ました。御地へも久しく參りませんが、井坂國手や小瀧礦泉から預つてゐる表裝（拙書）のこともあり十一月末には四、五日まで邪魔致します。先日、板垣將軍夫人と、御地方の話をして、懷しい氣がしました。（十一月三日）

新刊紹介

△國民法律顧問十一月號　難解な法律問題を興趣の裡に會得せしむるを目的とする此種のものとしては稀に見る肩の凝らぬ民衆の相談相手、例により實際的の諸問題滿載（半ヶ年分會費一圓二十錢一年分二圓二十錢、東京市荒川區尾久町五ノ一、一八一其會）

送藤原翁使千獨國
珠雲　小野務平

俊髦ハ野夙推才
商略縱横國富開
帶命今朝舟解纜
整調日獨國交來

その日〱

11月5日
△島村抱月歿す（大正六）△杭州灣北岸に敵前上陸敢行（昭和一二）

11月6日
△曲亭馬琴歿す（嘉永元）△遼東還附條約調印（明治二八）△日獨伊防共協定成立（昭和一二）

〇
ふかし芋釜から出せば娘の眼　澁團扇

講談 振袖横町（70）
須藤鐘一 作　荻原萬象 畫

（九）

中坊平九郎と、横目長十郎、と魚川太郎次郎との衆し合ひが越後屋の娶の噂であつた翌日のことである。三河町のお蝶の家には、朝から女主人は外出して、老婆のおまりが一人留守居をしてゐる。

「今日は！」

老婆は、もう居眠りにもあきて退屈してゐる時であつたので、急いで台所口の腰高障子を開けた。

「おや、大和屋の勉さんか。今日は、何誰もお留守なのさ。此方へお入りよ……。」

「へエ……？誰もゐないんですかい……？婆やさんが一人なのか？それぢや淋しいだらうなア。こんな大きな家にたつた一人で留守居ぢや。」

「ほんとにさうだよ。話相手が欲しいよ。勉さん、お前さんはたしか十六だつたね。」

「ウン、十六になつたんだ。」

「私の子も、生きてゐると今年は十六なんだがね、勉さんを見ると、あの子を思ひ出して仕樣がない……。丁度背格好も勉さんのやうに小柄だつたのでね——」

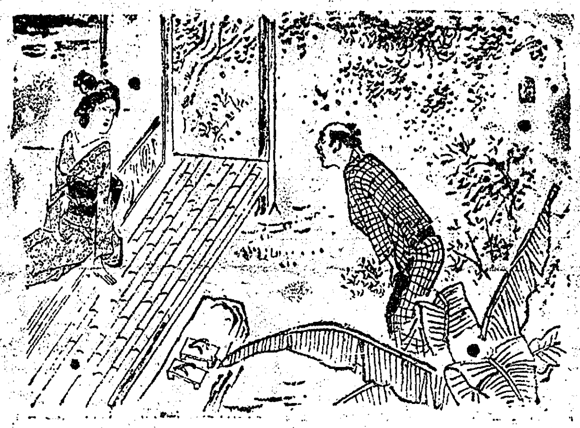
「婆やさんの子供は、俺と同じだつたのかい？死んだつたんだつてね……。隨分婆やさんは、氣の毒な身の上なんだなア。十六になる息子さんでも生きてゐたのなら、俺と同じ樣に、何か商賣でもして、一緒に暮らしてゐたんだらうがね……。力を落しなすつたらうせ。——けれどね婆さん、こちらさまに御奉公してゐりや、まだいゝ方だよ。まだまだ氣の毒な人は世の中にあるんだからねえ。」

「さうかも知れ、ねえ。然、勉さん、若いに似合ない、優しい氣性だねえ……。……あゝ、さうさう、頂いたお菓子があるからね、まア、お茶を一杯飲みながら食べておいでよ。」

老婆は、そゝくさとお茶を入れて菓子を持つて來た。

「折角婆やさんが食べやうと思つてゐたお菓子だらう……。それを俺がご馳走になつたんぢや、そりあ悪いや、婆やさんがおあがりなさいよ。」

「こりや勉さん、お前さんに食べさせやうと思つて取つて置いたんだよ……。私の志だから、食べておくれね。」



「さうですか？それぢや遠慮なく御馳走になつちまひませう」

「氣持よく食べてくれれば私も嬉しいんだよ。」

おまりは勉助が可愛いくてならなかつたのである。

さうして、二人は世間話を初める。

世間話と言つても、何にしても噂に上るのは生物憐れみの御沙汰である。

魚屋にとつては、これ程迷惑千萬の悪いものはない。盤台の中の魚を犬が喰へば、下手に追ひ出しでもして、それが役人の目にでも觸れやうものなら、忽ち捕へられて奉行所に引き立てられる……。

そのことを勉助はおまりに話したのである。

「ほんにねえ……。さぞお困りだらうねえ。」

おまりも、勉助にしみ〱同情するやうに、さう云つた。

「大きな聲では言へないがほんとに困つたことですね……。」

こゝで二人の間に話はちよつと切れた。しばらくの間は、白けた沈默が續いた。

廣告

田毎の
志るこ
どうに
電話六三二番

事務用ソロバン
優勝印 事務用ソロバン（播州產）
神國式 事務用ソロバン（雲州產）
共にソロバン中の一流品で御座います、仕上りがガッチリして而もお使ひ心地頗る宜しくあります、ソロバンでしたら大小、より〱小學生用多種入荷いたして居ります
平市才士小路
代理店 魁文堂
電話313番

「貯蓄は無盡で」
三仟圓
磐城無盡

磐城の御みやげ品
名物 みやま羊羹（名產梨かん）
改め靈峰羊かん
赤井嶽、二ッ箭山、山祇神社參詣土產！
姉妹品
磐城耶馬溪……美山羊羹
同 七濱……のり羊羹
同 豐間……辨天羊羹
◎各種 一本十錢
製造販賣元 小川郷驛前 平屋賣店

住宅地分讓

都心に近き保健境
平第三小學校東北方約二萬坪
金より物の時代
安全の土地

支那事變前では、投資家の投資物も種々雜多で、その向き向きに依つて、投資せられたものもありますが、事變の進行と共に各方面に於ける統制の強化は、全く自由に各方面への投資が抑制せらるゝこととなりました。その間に在つて殘されたる安全堅實にして、而かも至極有利なる投資としては、先づ第一に土地を擧げねばなりません。殊に最近に於ける跛行的景氣に依るインフレ傾向は、全國的土地投資熱が第一位と云つても過言ではないのであります。蓋し經濟界に於ける統制は、物價の抑制を招來してゐますが、獨り土地の價格には統制がなく、而かも遊資家の放出先に困つた投資が、期せずして土地に向つて來るのは、當然の歸結とも云ふべきであり、更に一面に於いて、事變終結に想を致すとき戰勝インフレの幕が切つて落さるゝこととなれば、產業界の殷盛と共に土地價の昂騰は期して待つべきものであると存ぜられます。從つて古來土地に投資した者には、殆んど全部が數十割の利益こそ見れ、決して損失はないと云はれてゐるのも、宜なる哉と思はれるのであります。

大小各口の御相談に應ず
御希望の方は市内田町一九蓮沼方（電話七八七番）へ御問合せ下さい

移轉開業（九月二十日ヨリ）
耳鼻咽喉科專門
增田醫院
平市紺屋町（吉田眼科前）
電話六五一番
小生病氣療養ノ爲、休院致シ居リ候處今般全快上記ノ場所ニ移轉開業仕リ候間御通知旁々御挨拶申上候
敬白
增田　之

當る二十九日開店
とんかつ專門の店
お待たせ致しました、どうぞ一層の御ひいきで御引立をお願ひ致します
平市仲田町（電話四六五）
かの家

吸入用酸素 純度99%
度量衡 モノサシ マス ハカリ
計量器 体温器 寒暖計
秤ノ取緒 [illegible]
關内藥局
電話四〇番

お醬油は……ヤマフル
味噌 醬油
たひら正宗
鰹節 食品料
壚屋
山崎合名會社
福島縣平市
電話（營業部一〇番 本店二七番）
明治生命磐城代理店 山崎興三郎

修港と國道の運命?

大藏省の査定も大体終了の今日 只蓋あけを待つばかり

五ヶ年繼續事業百五十萬圓中初年度配當三十六萬圓が折角明年度の內務省要求豫算に計上され乍ら大藏省の査定が危ぶまれてゐる小名濱修港問題は過般來地元關係筋から之が實現の猛運動が續けられ同時に之亦地方の重大懸案たる六號國道改良着工もその促進に熱のある動きを見せてゐる旨屢報の如くであるが、過般來總額七十億に上る十五年一般會計豫算各省概算要求を査定中であつた大藏省主計局では此程一應の査定を了し今月第二週より豫算省議を開き大藏省原案を作成、各省と折衝を經た上今月末に豫算閣議に付議する見込みがついたとの事で、地方關係の前記二大懸案は既に其の運命が決したと觀ることに大した誤り無く、從來拂ひ來つた懸命の運動が果し、熱願遂り酬ひらるるかどうか愈よその蓋あけが刮目さるる時期に入つた

輝く平商業學校

あす盛大に落成式

支出多端な市が總工費十二萬七千餘圓の大將を投じて躍進の市南郊に一新風景を點描した平市立商業學校の落成式は秋天爽涼の明五日午前九時半から橋本知事以下千二百の來賓を迎へ時局の感激を盛つていと盛大に擧行さる

宮城遙拜、國歌齊唱、修祓、玉串奉奠、式辭（青沼市長）工事報告（請負者堀江工業株式會社並に佐々木大作技師）既築工事功勞者表彰、祝辭、謝辭（服部校長）

たの如く了つて平商友會主催の祝賀に入り、蜜柑會の挨拶により時節柄簡素なる祝宴を開いて盃酒歡談、將來の商業戰線に躍る前衛部隊を出す良き學び舍の完成を祝福する晴いやかな集團の歡びが白土會主催の狂言大會等を伴奏として繚亂と講堂內に咲き崩るゝことゝ

記念諸行事

成績品展覽會其他

尙は學校では左記諸催しに晴の落成式を記念する

五日＝七日全國實業學校生徒圖書、書方、簿記、英習字展覽會、六日生徒落成記念式、七日父兄會（柔劍道、相撲、辯論大會）

金融相談開設

日本興銀支店で

日本興業銀行福島支店では明六日午後一時から市公會堂日本間で地方商工業者のため個別的に金融相談に應ずる

遞信講習生徒募集

東京都市遞信講習所では今回普通科生及郵便科生約五百名を募集してゐる、年齡は滿十四歲から二十歲迄の男子で高等小學校卒業程度、期日は十二月二三日の二日間で試驗は東京、新潟、宇都宮、水戶、其の他關東地方主要都市に於て行ふ、詳細は最寄の郵便局に承合せられたいと

半島同胞代表が白衣勇士を慰問

半島同胞より成る平協和會では武勳を白衣に包んで療養に專念してゐる傷病兵を慰問することゝなり代表の左記補導員三氏が近く若松其他へ出發する

金鐘生（平）劉三出（小名濱）尹甫求（江名）

茨城縣人總會

市在住茨城縣人會秋季總會を十日午後六時から谷口樓に開き役員改選を行ふ會費二圓

秋空の下律動の美

昨佳節の地方体育大會

前日迄ぐづついた空もカラリと晴れたきのふ明治節の佳き日——神宮体育大會に呼應して平市の地方大會は式典擧行後中、小學校を會場として開催、ラヂオに合せて展開された國民体操等の律動美！殊に一般市民を迎へる事になつてゐた四小學校會場は男女青年、國婦會員等の率先參加によつて秋空の下この日にふさはしい明朗風景を描き各會場とも正午頃散會した

勞務資源の充實が早くも出炭に反映

數字が語る急激な增産

時勢に最も即應せる半島勞働者の移入によつて着々勞務資源を充實强化し一躍銃後增産の態勢に入つた昨今の常磐炭界は移入勞働者の熟練と共に加速度的の能率增進を期待されてゐるが、その前奏とも見るべき去月二十一日以降三十一日に至る旺盛な送炭振りは

事業用六、一一一車七九、〇七二廻　鐵道用一五八一車二〇、五七三廻　合計七　六九二車九九、六四五廻

で前年同期を凌ぐこと實に

事業用一、一九二車一四、八四四廻　鐵道用三三三車三、〇二一廻　合計一、五二四車一七、八六五廻

即ち一日平均百三十九車千六百二十四廻の飛躍的激增で初旬以來全月分の增加は二千七百三十一車三萬五千三百九十九廻と云ふ近來稀有の數字を躍らせてゐる

青年學校教練査閲

執行官は福本大佐

郡下の青年學校教練査閲は左記日割で行はれるが査閲官は步兵大佐福方萬次郎氏

△平市第一第二（平市第二）十二月廿三日、△四ツ倉、大浦、大野（四ツ倉）十二月七日、△夏井、草野、神谷（夏井村）十二月八日△飯野、高久、豐間（高久村）十二月九日△小名濱工場、小名濱、江名、鹿島（江名町）十二月十日△泉、玉川（泉村）十二月十一日△勿來、川部、錦、錦工場（勿來町）十二月十二日△田人（田人村）十二月十四日△植田、菊多、山田（植田町）十二月十五日、△磐崎村、磐崎、藤原、渡邊（藤原）十二月十六日△入遠野、上遠野（上遠野村）十二月十七日△湯本（湯本町）十二月十八日△內郷、內郷鑛業（內郷村）十二月十九日△永戶村、合戶、渡戶、永井、澤渡村（永戶村合戶）十二月廿一日△好間村、第一、第二、箕輪村第一、第二（好間村第二）十二月廿二日△上小川、下小川、小川組合村、赤井村第一、第二（上小川村）十二月廿四日△三坂村差塩、上三坂、中三坂、下三坂（下三坂）十二月廿五日△川前村、川前、桶賣（桶賣）十二月廿六日

天氣次第に好轉

嬉しあすの豫報

きのふの旗日から一日置いてあすの休みは平女子青年團百餘名のハイキング隊等、秋色濃い川前の賑ひも豫想されるが心もとない今朝來のお天氣を小名濱測候所の打診を聽くと「南東の風ではじめは雨だが風も西に廻るらしいのでだん〳〵よい天氣になるでせう」先づ一縷の望みはあるわけだ

陣中を聽く

（487）

便衣隊が出るので昨今警戒を嚴にす

材木町出身　鈴木一夫少尉（通信）

承前。見て居りますと、その川が漫々たる水を湛わて流れて居るのですが一度午後の二時頃々たる波の音を立てゝ錢塘江の流れに逆行白波を立てゝ物凄い勢を以て遡つて來るのでありますす、同封の寫眞に優るその酣の時にして川の中流は流れ早い爲に潮の推行が遲れて居ります。時期は九月三十日、十月一日前後が一年を通じ最も甚だしい時で事變前は仲々大々的に觀潮會を催し、外國あたりからも見物人が多く來たと云はれて居ります次の去る十三日には新に出來た杭州神社のお祭りがありまして市內學生の運動會、相撲、劍道大會それに慰問映畫やら假裝行列、それに山車迄出たりして仲々盛大なるものあり特に在留邦人の努力により故國のお祭り氣分を味ぶ事が出來非常な賑びでありました。特に夜にはほんの僅かでも西湖畔にて花火が上り、電氣を點けた舟が湖に浮び仲々に美し、景を呈しましたそれや、れ一寸大騷ぎをしたので敵も癪に障へたかその夜中市の四周に放火し我が隊も直ぐ近くの民家に放火され一寸驚きましたが支那の家屋は丁度日本の土藏と同じなので一軒で濟み大事に至らずに濟みましたが一時は全く驚かされました

最近は又時々そつちこちに便衣隊が出現し警戒を嚴にしある狀況であります。

零下七八度

平市町出身　新妻光司君

秋冷日增しに加わり行く折柄皆樣にはお變りありませんか、其後は永らく御無音に打ち過ぎ誠に申し譯ありません。小生もお陰樣で無事元氣に軍務に勉勵致して居ります故他事乍ら御休心下さい。內地は秋天高く馬肥ゆるの季でせう、滿洲の大陸には最早雪が降り零下七八度以上に下り內地の正月頃の時候であります、時節柄御自愛專一に。早々

陪審員候補

廿二日抽籤で決定

市では二十二日陪審員候補者十五名を抽籤で決定する

植田驛で輸送協調協議

植田驛では總動員輸送協調週間に際し四日荷主六日有志と懇談會を開く

次回配給はこの十日

バット黨困り抜く

煙草飢饉は最近一層深刻化し、それに「空箱を持參しないものには……」との新しい條件がついたので愛煙家は空箱探しに血眼の態、一日前配給されたバットも僅か一日の壽命でもうどこのタバコ屋さんの瓶も空つぽであり次回配給の十日まで惱み續けねばならない、四倉町への配給は一と足お先きの六日なので早くも同町への買出しを意氣込んでゐる連中もある等人間の慾もかうなるとあさましい限りである

五十萬圓を突破

平局の事變國債消化

第十二回支那事變國債賣出しは一昨二日を以て打ち切つたが平局へ割當ての二萬七千二十五圓に期間內に賣り盡し更に千五百圓を追加した程の好成績であつた。これで一昨年十月第一回賣出し以來平局に於ける消化額は實に五十二萬四千圓の巨額に上り其間市民の力强い銃後心を物語つて餘りあるものがある

鐵道への正認識を！

立枝驛長磐中生に講演

立枝平驛長は一昨二日磐中全校生徒の爲交通安全週間に關し前後二時間に亘る講演を試みたが卒業後鐵道に志す者の爲に鐵道の機構、從業員の待遇その他に就き詳細說明大いにその方面の認識を深む處あつた。右講演は啻に列車乘降の多い全生徒に對し乘降時の注意警戒を促したのみならず、卒業後の就職希望者に一の方針を與へたる一面近時動もすれば他の殷賑産業方面に要員を吸收され勝ちな今日優良な從業員を獲得する上に於ても相當の効果があつたものと觀られる

犯人逮捕表彰

植田町本町印判業都甲竹夫（四八）さんは詐欺犯人逮捕に協力した功勞により縣刑事協會から金一封を添へ表彰された

巷の埃

市の公益質屋は愈よ來る八日の大安日をトして店開きするが、光榮?あるイの一番の置き主は誰となることやら先年湯本町のそれでは事務の修習上店開き當日質屋名儀人の町長を除いた役場全吏員と町、區會議會を置き主として芽出度開業したとのことである

長橋區民獻金

市內長橋町區民一同で第二回恤兵金十圓三十錢を醵出、川角區長が代表で市役所寄託

れた披露目

山形家から「山路」が出現。二十三歲と云ふ小へ遊し處、どひきを願ふとのこと

猪狩角吉翁

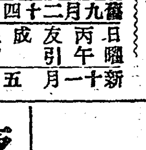
市內鎌田町猪狩乘孝氏養父角吉翁は病氣中三日午後十一時死去、行年八十二、葬儀は六日午後二時出棺九品寺に埋葬する

氏は日淸戰役の勇士で農會議員を永らく勤續、町分村土木係勤續三十年の廉で今春愛谷堰組合から表彰された鎌田町の長老である

平市慶弔錄

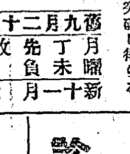
○婚姻　五丁目二三北村俊雄氏（二五）白銀町一回田邊ハヤさん（二四）、米澤市一ノ町五、三〇七今井源次郎氏（二九）紺屋町三八野村タケさん（二五）

▲死亡　南町六近藤うめさん（六五）



舊九月二十四日　日曜　丙午　友引　成　星宿　新十一月五日

▲一白　勞苦にも堪拔かるる日何事にも隱忍が大切▲二黑　入りて吉く出でゝも亦吉き幸福なる日なり▲三碧　けん遜ならざれば信用を失ひて秩序みだるべし▲四綠　福德來集の幸運日にして何事も遂んで吉し▲五黃　奮勵するときは自己の手腕を發揮するを得▲六白　込み入りたる事を生じ思ぶ樣に行かざる日▲七赤　辛抱足らざる時は禍日のかうを拾つるに至る▲八白　運氣頂上に達する吉日にて何事も進むべし▲九紫　努力次第にて如何なる難關も突破し得らる



舊九月二十五日　月曜　丁未　先負　收　張宿　新十一月六日

▼一白　困ろうなるときは信用を損して衆に離るべし▲二黑　內にありて平和を主とするが尤も安全なり▲三碧　人の言を聞き開きて案外失敗することあり▲四綠　我が力を頼みとし他人の手助けを待つべからず▲五黃　身の程を守り大なる事に手出しすべからず▲六白　內はともあれ專心外に向つて活動すべき日▲七赤　平押しに押し進むべし氣緩みは第一の禁物▲八白　內治らざれば外に向つての銃鋒も鈍るべし▲九紫　運氣一轉し此までの苦痛は一切免れ得べし

【小名濱測候所觀測】

五日　滿潮　前一〇、二五　後九、一五　干潮　前二、三〇　後三、二五

六日　滿潮　前一一、〇五　後一〇、五五　干潮　前三、五五　後五、四五

酒トマツイ　おでんの　榮ちゃん　平市田町花ノ里　電話三三三番

おでん　たつた揚　やきとり　一平　電話二六三番

御婚禮　御法事　御會食　御宴會　尙は季節料理　松茸そば　同丼　平市田町　電話一七一番　さかき家　料理部

夜間診療　胃腸性病　內科　胃腸病科　花柳病科　性病科　皮膚科　專門　（見習看護婦募集）　松村胃腸性病科醫院　（平市南町　電一〇一七番）

ミツウロコ煉炭　木炭不足の折柄無臭にして最も德用な木炭代用ミツウロコを御進め致します。是非御利用御用命を願ます　三菱ガソリン諸油類　ミツウロコ煉炭豆炭　特約店　市原商店　平市一丁目　電話二四四番

外科一般　內臟外科　肛門病科　皮徽科　泌尿生殖器科（婦人科　性病科）專門　（入院隨意）　看護婦及見習看護婦募集　平市字鎌田町　白土醫院　電二七九

養父角吉儀病氣中の處療養不相叶三日午後十一時行年八十二才を一期として死去仕り候間生前辱知諸彥に謹告仕り候

追而送葬の儀は六日午後二時自宅出棺九品寺に於て佛式により相營み可申し候

平市鎌田町　養子　猪狩乘孝　外　親戚　一同